

令和8年度 学校運営方針

1 スクールミッション

(1) 社会的役割

自らの興味・関心を生かしながら、論理的に物事を考えることができ、地域の課題解決に積極的に取り組む人材を育成します。

また、郷土を愛し、他者を思いやり、チャレンジ精神にあふれ、地域のリーダーとして集団を導くことができる人材を育成します。

(2) 教育理念

基礎学力の習得に加え、高校生の視点で地域課題解決型学習に取り組むことで、地域を愛し、地域課題に向き合い続ける姿勢を育む教育を目指します。

また、生徒同士の協働的な学びやICTを積極的に活用する取組を通して、自分自身の考えを深める教育を目指します。

(3) 今後の方向性

「地域課題解決型学習」や「商業教育」を中心に、地域に根ざした体験的学習により、生徒の主体性と自主性を伸ばすより実践的な教育を展開します。

また、ICT教育の充実や特別支援教育の観点に基づいた授業により、生徒の学力と社会を生き抜く力の着実な向上を図ります。

2 スクールポリシー

(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 [グラデュエーション・ポリシー]

○ 自らの学修をとおして思考・判断する力と誠実な対応力を高め、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力と自ら学び続ける気概を持つ社会的に自立した生徒を育成します。

○ 自己肯定感と集団への帰属意識を持ち、いのちを慈しみ、心豊かで、自他を尊重する姿勢を持つ生徒を育成します。

○ 郷土を愛し、郷土の課題の解決や魅力の向上に取り組む生徒を育成します。

(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 [カリキュラム・ポリシー]

○ 他者との協働による対話的で深い学びに加え、個別最適化した教科指導により、生徒それぞれの進路希望の実現を目指します。

○ パブリックワークを中核とする「地域課題解決型学習」や「ビジネスキャリア教育」を中心とする地域に根差した実践的・体験的な学びにより、生徒の主体性や自主性を伸ばす教育を行います。

○ ICT教育及び特別支援教育の方法を積極的に取り入れた授業により、生徒の学力と社会を生き抜く力の着実な向上に努めます。

(3) 入学者の受入れに関する方針 [アドミッション・ポリシー]

○ 高等学校での学びや様々な活動に取り組むことで、自らを成長させようという意志を持った生徒を募集します。

3 校訓

誠実 自律 創造

4 教育方針

(1) 本県県立学校において初めて認定されたコミュニティ・スクールとして、本校学校運営協議会（なかこう学校運営協議会）との連携を基軸に、地域の様々な資源を活かし、「開かれた学校づくり」と郷土愛を育む教育を推進する。

(2) 生徒一人一人の主体性と多様性を尊重し、他者との協働による対話的で深い学びと個別最適な学びの双方の特長を活かした教育活動の具現化に努める。

5 目指す学校像

(1) コミュニティ・スクールとして、地域との連携を一層密にし、地域を支え、地域

- に愛され、地域とともにある学校
- (2) さまざまな活動を通して、「生き抜く力」を身に付けられる学校
 - (3) 生徒、保護者、地域社会及び職員の全てにとって魅力ある学校

6 求める教師像

- (1) 生徒基点の発想で生徒の成長のために力を傾注する教師
- (2) 教育のプロとして自覚と責任を持ち、自己研鑽に努め、自らを律し、服務規律を遵守する教師
- (3) ワークライフバランスの観点から、日々業務内容の改善に取り組む教師

7 本年度の重点目標

- (1) 育成を目指す資質・能力
 - ① 徳を養う
 - ・ 生徒に任せる教育活動を通じ、社会人としての責任感や自己有用感等を養う。
 - ・ 日常の他者との関わりや時宜を得た講話等を通じて、規範意識、自己管理能力、人権意識を養い、適切な人間関係を構築する。
 - ・ 学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動、部活動等を通じて、周囲を思いやる気持ちや自尊感情、協働性に加え、企画力・運営力や主権者意識・愛校心を養う。
 - ・ ボランティア活動や地域活動への積極的参加を通じて、地域貢献に対する喜び、ふるさとへの愛着心、共生社会の形成に向けた共感力を培う。
 - ② 知力を伸ばす
 - ・ 分かる授業や指導によって基本的な知識・技能を定着させ、活用させる場面を通じて思考力・判断力・表現力を育成し、確かな学力を身に付けさせる。
 - ・ グループワークや一人一台端末を活用する等の多様な学習活動を通じて、学びに向かう意欲を育成する。
 - ・ 総合的な探究の時間等での探究活動等を通じて、課題を解決する意欲、キャリア形成意識及び情報活用能力並びに情報リテラシーを育成する。
 - ・ 外部機関等と連携して本物に触れる機会をつくり、知的好奇心や創造性を喚起する。
 - ③ 心身を整える
 - ・ 授業や学校行事等を通して、自らの心身の状況を認識させるとともに、周囲とともに粘り強く取り組む意識やたくましい心身を育む。
 - ・ ホームルーム活動等を通して、挨拶の励行、時間厳守の徹底、端正な身なりなど基本的生活習慣を確立し、社会人としての基盤を培う。
 - ・ 部活動等を通して、周囲と協力して成功体験を積むとともに、他者を多面的に捉え、多様性を尊重する寛容な心と態度を備える。
 - ・ 相談しやすい環境の充実による不調の早期発見と適切な支援を通じて、心と体の健康を維持する能力を養う。
- (2) 教育活動を営む上での留意点等
 - キャリア・カウンセリングを推進し、生徒及び保護者との対話を重視した肯定的な関わりによる信頼関係の構築に努める。
 - 人権意識、生命尊重、いじめ防止に対する意識を高める。
 - 本校の実態に即した特別支援教育の在り方の研究を積み重ね、特別な支援が必要な生徒に対して組織的な支援を行うことで、求められる資質・能力を身に付ける機会が失われないように努める。
 - 施設設備の点検・整備・美化の励行により、安全安心な教育環境構築に努める。
 - 「なかこうだより」やHPによる定期的かつ細やかな情報発信や、オープンスクール及び学校説明会の内容と形態の更なる充実を図り、志願者数増に向けた取組に努める。
 - 教職員の研修の充実と働き方改革に積極的に取り組み、精神的にも体力的にも充実した教職員が生徒に向き合う時間を確保できるように努める。